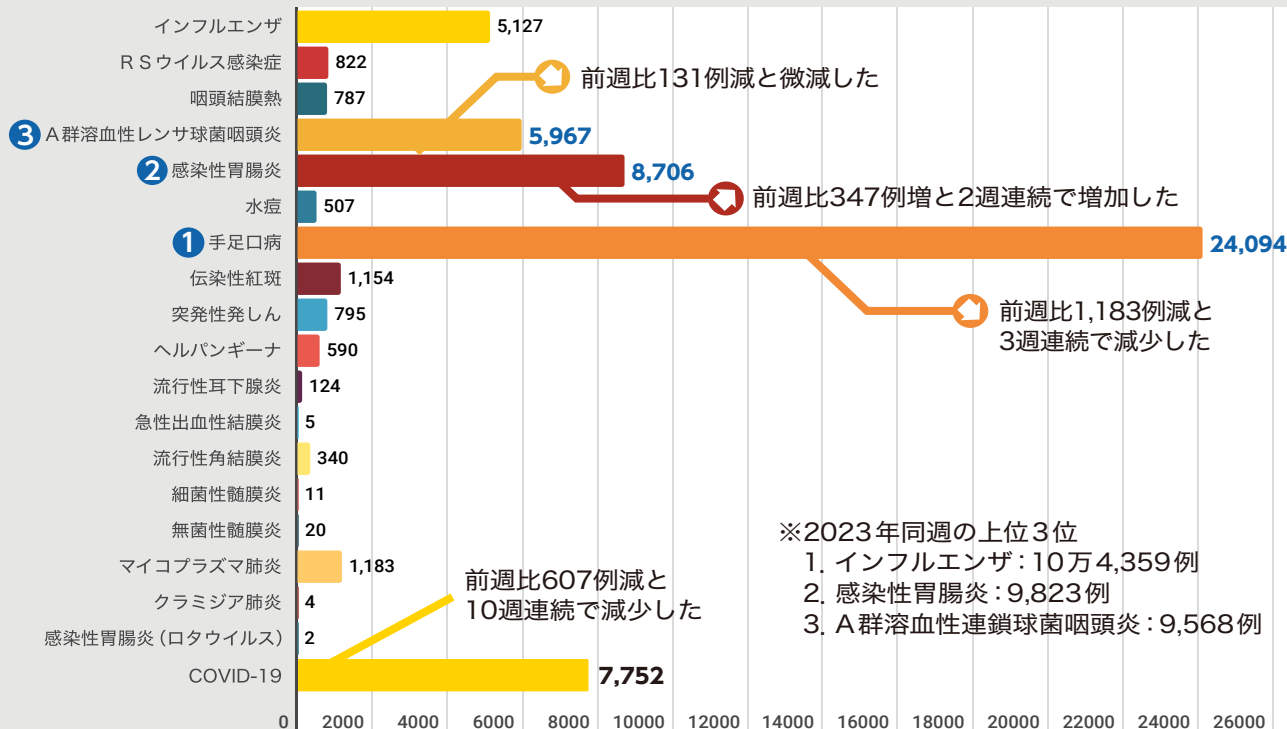




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

昨年比、手足口病は10倍、インフルは20分の1

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 手足口病

報告数

1. 東京都: 2,311例
2. 神奈川県: 1,923例
3. 埼玉県: 1,914例

定点当たりの報告数(7.70)

1. 愛媛県: 18.58
2. 宮崎県: 18.33
3. 岩手県: 17.78
4. 宮城県: 16.07
5. 山形県: 14.89
6. 福島県: 13.31
7. 千葉県: 12.18
8. 埼玉県: 11.74
9. 鹿児島県: 11.61
10. 栃木県: 10.98
11. 群馬県: 10.81
12. 大分県: 10.72

※その他、19都県が警報基準値(5.00)超え

② 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 743例
2. 大阪府: 664例
3. 埼玉県: 529例

定点当たりの報告数(2.78)

1. 大分県: 8.61
2. 宮崎県: 5.61
3. 熊本県: 5.06
4. 福井県: 4.88
5. 徳島県: 4.82
6. 石川県: 4.69
7. 鳥取県: 4.11
8. 兵庫県: 3.97
9. 三重県: 3.87
10. 福岡県: 3.61
11. 香川県: 3.46
12. 鹿児島県: 3.45

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 福岡県: 564例
2. 東京都: 418例
3. 北海道: 366例

定点当たりの報告数(1.91)

1. 福岡県: 4.70
2. 鳥取県: 4.16
3. 大分県: 3.42
4. 宮崎県: 3.19
5. 富山県: 3.03
6. 茨城県: 2.91
7. 千葉県: 2.88
8. 三重県: 2.82
9. 愛媛県: 2.75
10. 長崎県: 2.73
11. 北海道: 2.67
12. 熊本県: 2.62

今週の感染症動向

手足口病は3週連続で減少したものの、報告数は依然として2万例を超えており、昨年同週(2,298例)の10倍に上る。定点当たり報告数で警報レベル(5.00)にある地域は31都県と半数以上を占め、全国的な流行が続いている。感染性胃腸炎は2週連続で増加し、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は微減した。COVID-19は10週連続で減少し、8,000例を割り込んだ。マイコプラズマ肺炎は2週連続で1,000例を超えた。インフルエンザは前週から829例増加し5,000例を超えたが、昨年同週(10万4,359例)に比べるとおよそ20分の1の低値で推移している。定点当たり報告数は相変わらず沖縄県(10.64)が突出している他は目立った流行は見られない。冬に向けた動向が注視される。